

第343号 平成26年11月

# 東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

立川市柴崎町3-5-24  
TEL 042-525-0870

## 平成27年度の事業・予算の構想など協議

都農業会議は、11月7日に区市町村主管課長および農業委員長62人の出席を得て、賛助員協議会を開きました。

協議では、平成27年度東京都農業会議事業・予算の構想ならびに、賛助員拠出金について説明し、了承されました。

特に、農業委員会制度の見直しに対する組織活動の強化をはかるとともに、農業委員会・農業会議提携活



挨拶を述べる青山会長

## 東京都農業会議賛助員協議会

動の推進に向け、一層連携を強化し、対応することとしました。

また、平成25年度事業報告及び歳入・歳出決算書ならびに農産物生産状況調査結果について報告しました。

## 都農業会議前会長の波多野氏に 功労者表彰状を贈呈

### 全国農業会議所60周年記念式典

11月11日に港区で開かれた全国農業会議所創立60周年記念式典で、都農業会議前会長（現顧問）の波多野重雄氏に功労者表彰状が贈呈されました。

波多野氏は関東都県農業会議代表として平成16年に全国農業会議所理事、平成20年に副会長に就任しました。

都市農政およびWTO／FTA対策などに大きく貢

## 青森県田子町のニンニク生産と 黒石市のリンゴ栽培について研究

### 島しょ農業委員会協議会

島しょ農業委員会協議会（中山慶孝会長）は、11月5～6日、青森県

田子町のニンニク生産と同県黒石市のリンゴ栽培について現地研修会を開きました。

田子町のニンニク栽培は、土壌診断と牛糞堆肥の施用を繰り返すことにより、火山灰土壌を改良し、外国産に負けない高品質のニンニク生産に成功しました。

また、新商品の開発にも取



黒石市のリンゴ栽培について研究する

り組み、東京などの市場を開拓し、産地形成に大きく貢献しました。

業生産額の5割以上を占めています。病害虫防除に力を入れており、青森県りんご研究所と連携し、徹底的な管理が行われています。

りんご研究所では、生食、加工、料理など多様な需要に応じた品種開発とともに、世界的に普及している品種である「ふじ」の後継品種として、病害虫に強い「スーパーふじ」の育成に取り組んでいます。田子町と黒石市では、行政、生産者、農協などが一体となって、産地を維持・発展させており、島しょ農業にとっても参考となる研修会となりました。

## 八丈町の菊池氏が 全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞

### 全国農業担い手サミットinひょうご

第17回全国農業担い手サミットinひょうご実行委員会と全国農業会議所

は、このほど「第17回国農業担い手サミットinひょうご」を開き、神戸市にて全体会が、県下9地域にて現地視察が行われました。

全体会に先立ち、全国優良経営体表彰伝達式が開かれ、都内からは八丈町の菊池正博氏が、全国

担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞しました。



全国優良経営体表彰式の様子

### 羽村市と小平市の農業委員会活動など研究

会長職務代理・部会長現地研究会

東京都農業会議は10月、区市町村農業委員会の会長職務代理ならびに部会長などを対象とする現地研究会を2地区に分けて開きました。

10月16日には羽村市農業委員会の協力により区内・北多摩地区の研究会を開き、同市の農業委員会活動や農業振興施策について研修しました。

室内研修の後には羽村市農産物直売所と根掘み前水田を見学しました。広大な水田では裏作にチューリップが栽培され、春には多くの人が訪れる名所になっています。

また10月22日には小平市農業委員会の協力により西多摩・南多摩地区の研究会を開き、同市の農業委員会活動や



羽村市の水田での取り組みについて説明する同市農業委員の清水亮一さん

担い手支援施策について研修しました。

現地研究では野菜や花の摘み取り農園を運営するベンズファーム(深谷勉代表)と、小野義雄さん、久枝さん夫妻の野菜経営を見学しました。

小野さんの経営では、多品目の野菜を栽培するとともに久枝さんがジャムなどの加工

### 町田市と同市農業委員会の

### 新規就農の取り組みなど研究

東京都農業会議は、10月28日に、町田市で新規就農農地見学会を開きました。

当日は、都内の新規就農希望者などが参加しました。

町田市と町田市農委会(吉川庄衛会長)は、農地利用集積円滑化事業を活用し、市街化調整区域において農地の利用促進を積極的に行い、これまで約13ヘクタールの農地の貸借(利用権設定)を進め、新規就農者17人と新規参入法人2法人が新たに農業を開始しています。

見学会は、町田市からの事業や経過の説明、研修農場の

に取り組んでおり、昨年度に新設した農産加工・体験施設の中で話を聞きました。



小平市の農業の状況や農業委員会の活動を説明する小平市農業委員会の高橋会長

### 新規就農農地見学会

見学、新規就農者の農地見学などをし、参加者は真剣に町田市の新規就農者などに質問を投げかけていました。

同見学会は、12月16日に瑞穂町、1月8日に八王子市において実施する予定です。



町田市で新規就農した経緯や経営状況など話す相川将さん

### 常任会議員だより

#### 第7回常任会議員会議

平成26年10月17日に開催し状況は次のとおり。

#### 議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、第4条1件184㎡、第5条9件5579㎡を審議し、許可相当と答申する旨決定した。

#### 協議

①平成27年度東京都農業会議事業・予算の構想について協議し、区市町村賛助員協議会に提出することとした。

②企業の農業経営顕彰および農業後継者顕彰の候補者の経営状況等を説明した。

また、認定農業者制度の推進に向けた区市町村独自の支援策などを紹介し、今後も農業者の育成支援に取り組むこととした。

当面の農政問題では、①東京農業に関する都議会議長への要請、②都市農業振興基本法案(仮称)骨子(案)の概要および各農業団体の要請状況、③食料・農業・農村基本計画の見直しに関

する食料・農業・農村政策審議会企画部会の状況、④TTP交渉などの情勢などを説明した。

#### 第8回常任会議員会議

平成26年11月17日に開催し状況は次のとおり。

#### 議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、第4条5件452・82㎡、第5条4件2387・41㎡を審議し、許可相当と答申する旨決定した。

#### 協議

企業の農業経営顕彰候補者と農業後継者顕彰候補者に農業会議会長賞の交付を決定した。

また、特に優秀な経営には東京都知事賞、全国農業会議所会長賞、東京都産業労働局長賞の交付申請を行うこともあわせて決定した。

当面の農政問題では、①都市農業振興基本法案をめぐる動向、②地方6団体による「農地制度のあり方について」の提言の概要、③東京都農地中間管理事業の推進に関する基本方針等の概要について説明した。



### 埼玉県飯能市のエコツーリズムを研究

女性農業委員・職員研修会

東京都農業会議は11月11日、都内農業委員会の女性農業委員および女性職員を対象とする現地研究会を埼玉県飯能市において開きました。

5人の女性農業委員と6人の女性職員が参加しました。飯能市では豊かな自然や文化をいかし、住民が自ら企画・運営し市が支援するエコツーリズムに積極的に取り組んでいます。

飯能市役所を訪れた一行は、担当課長からこうした取組が始まった経緯やエコツアーを実施する方法、これまでの成果などについて説明を受けました。

また、固定種野菜の栽培と普及に取り組む若者の組織である「八農会」の畑を見学し、



エコツーリズムについて説明を受ける

同会が主催するエコツアーの一部を体験しました。



エコツアーを体験する

### 千葉県香取市の

### ローソンファーム千葉の経営など研究

南多摩地区農業委員会協議会（吉川庄衛会長 町田市）は、10月27日（月）に、ローソンファーム千葉の経営状況などを現地研究する視察研修会を開きました。

香取市にあるローソンファーム千葉は、全国10カ所あるローソンファームのなかで最初に設立され、同市の農業者である芝山農園の篠塚さんが代表取締役となり、ローソンの出資を受け、設立した農業生産法人です。

### 長野県川上村と原村の

### レタスとセロリの生産などについて研究

西多摩地域農業委員会連合会

西多摩地域農業委員会連合会（宮川修会長）は、このほど長野県川上村と原村で現地研究会を開きました。

川上村では、レタス生産について、原村ではセロリ生産について研究し、特に農業用水を活用した栽培技術や、料理の洋風化に合わせた販売戦略について、学びました。両村とも、高冷地気候で涼しく、また日照が豊富な環境の

### 南多摩地区農業委員会協議会

参加者からは、ローソンとのかかわりや経営内容、また、出荷形態や今後の展開などについて質問がされました。



ローソンファーム千葉の篠崎社長（左）より説明を受ける

### 「くらしフェスタ東京」に都農業法人協会が出店

東京都消費者月間実行委員会（笹浪真智子委員長）は、このほど「くらしフェスタ東京2014」を新宿駅西口地下広場において開きました。

都農業法人協会も出店し、ガーデンシクラメン、パンジー、グラントカパーなどを販売しました。

販売した農産物は、都法人協会の会員が生産したもので、高品質のため、消費者から好評を得ていました。

### 農地の有効利用や担い手支援

### 農地制度改正への対応などについて議論

東日本ブロック農業委員会職員現地研究会

全国農委会職員協議会は、10月9日から10日に、山形県天童市にて平成26年度東日本ブロック農委会職員現地研究会を開き、都内から3人の農委会職員が参加しました。

現地研究会は、特に、農地の有効利用と担い手の支援、また農地中間管理事業など農地制度改正への対応などをテーマに議論が進められました。まず、記念講演で大妻女



川上村の広大なレタス畑

子大学の田代洋一教授が「農地の利用集積は強制的に行うものではなく、農地のあつせんは事情に精通していない人の介入が地域の流動化体制のトラウマになりかねない」と主張。続いて、パネルディスカッションでは、3市町の農委会が、農地の利用促進活動の成果や人・農地プランの作成による担い手支援の状況などを報告しました。

### 個人直売所の魅力アップについて研究

#### 個人直売所魅力アップセミナー

東京都農業会議は10月21日、武蔵野市および同市農業委員会との共催により個人直売所魅力アップセミナーを開きました。

武蔵野市をはじめ、近隣地域の農業者ら約20人が参加しました。

西多摩地域を中心に活躍するデザイナーの江藤梢さんを講師に迎え、はじめにJA東京むさし武蔵野支店の会議室において「地域に愛される直売所のつくりかた講座」と題して室内研修が行われました。

その後、市内で野菜の直販に取り組む櫻井義則さんの協力により、同氏の庭先直売所を江藤さんが1万円以内で揃



真剣に研修を受ける参加者

えた小道具類を使って実際に「変身」させる実演を行いました。



直売所の「変身」の実演を行う江藤梢さん(右)と櫻井義則さん(左)

### ヨーロッパ野菜の栽培などについて学ぶ

#### 女性農業者セミナー

都農業会議と都農業経営者クラブは「レストランと提携しヨーロッパ野菜を栽培する取り組み」をテーマに、さいたま市にて女性農業者セミナーを開きました。

「さいたまヨーロッパ野菜研究会」の取り組みについて説明を受けながら、レストランでヨーロッパ野菜を材料に使った昼食をとり、その後ヨーロッパ野菜の圃場を見学しました。

### 武蔵村山市農業経営者クラブ

#### 設立30周年記念式典

武蔵村山市農業経営者クラブ(岸芳司会長)が、設立30周年を迎え、このほど記念式典を開きました。

当日は、記念誌の紹介と歴代会長への感謝状贈呈が行われました。

記念誌には、活動の歴史、クラブ主催の市民フォトコンテストの写真、視察研修の記録、市民との交流活動などの様子が記録されています。

また「都市に大事な農業・農地を守る農業者に期待」と題し、都農業会議の青山会長



都市農業者への期待などについて講演する青山会長

### 西東京市のニイクラファームを現地研究

#### 全国農業法人秋季大会・セミナー

日本農業法人協会(藤岡茂憲会長)は、このほど全国農業法人秋季大会・セミナー2014 in 関東を都内で開きました。

全体会に先立ち、西東京市の有限会社ニイクラファーム(新倉庄次郎社長)のハーブ生産について現地研究し、都外から14人が参加しました。

参加者は「多品種のハーブ生産や都市ならではの販



ヨーロッパ野菜について説明する木村彰宏さん(左)



ハーブの生産について説明する専務取締役の新倉大次郎さん(左)

#### 12月・1月の日程

- 12・2 (火) 区内職員検討会
- 12・3 (水) 南多摩職員検討会
- 12・5 (金) 西多摩職員検討会
- 12・9 (火) 北多摩南職員検討会
- 12・11 (木) 北多摩北職員検討会
- 12・12 (金) 北多摩西職員検討会
- 12・17 (水) 常任会議員会議
- 12・18 (木) 農地利用方策研究会
- 12・15 (木) 島しょ検討会
- 12・16 (金) 常任会議員会議
- 12・20 (火) 南多摩検討会
- 12・21 (水) 区内検討会
- 12・23 (金) 北多摩西検討会
- 12・27 (火) 北多摩北検討会
- 12・29 (木) 北多摩南検討会
- 12・30 (金) 西多摩検討会